

VDR 消費者情報



特集：高齢者の習い事の実態

調査の概要

- 調査方法：インターネット調査
- 調査期間：2014年2月12日～13日
- 調査対象：M.netインターネット調査モニター
60才以上の男女
- 調査数：403

平成26年4月23日発行(第25号)

発行者：坂上眞介 編集長：相野谷竜氏
東京都品川区西五反田8-3-16

西五反田8丁目ビル4F

株式会社市場開発研究所

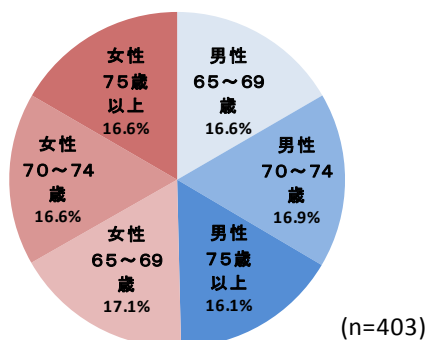
連絡先：Tel: 03-5436-6222
Fax: 03-5436-6232

調査の背景と目的

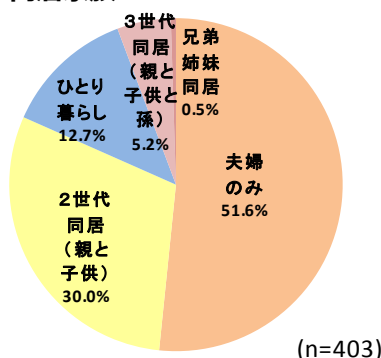
- ⊕ 近年、少子高齢化が進み、様々な業界が、若年層のユーザーの減少という問題に直面していると思われます。なかでも学生を対象とした市場、特に教育市場にとっては大きな問題なのではないでしょうか。そうしたなか、文科省が推進する、「生涯学習」等からも見受けられるように、高齢者へのアプローチも検討すべきではないかと考えました。
- そこで今回、高齢者の教育ビジネス、習い事に関して調査し、業界の進出の足掛かりになればと考えております。

●対象者プロフィール

■ 性×年代

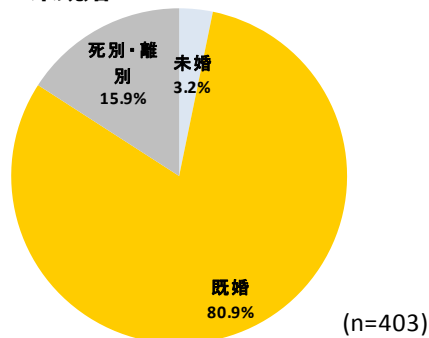


■ 同居家族

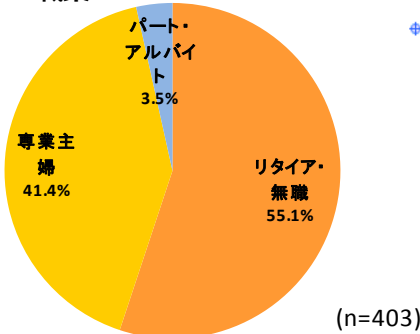


- ⊕ 今回の調査では、性年代でほぼ同じ割合で回収しました。
- ⊕ 同居家族は「夫婦のみ」が最も多く、5割を占め、次いで「2世代同居」が3割、「ひとり暮らし」が1割強です。
- ⊕ 未既婚では、「既婚」が8割、「死別・離別」が1割台で「未婚」は3%にとどまりました。

■ 未既婚



■ 職業

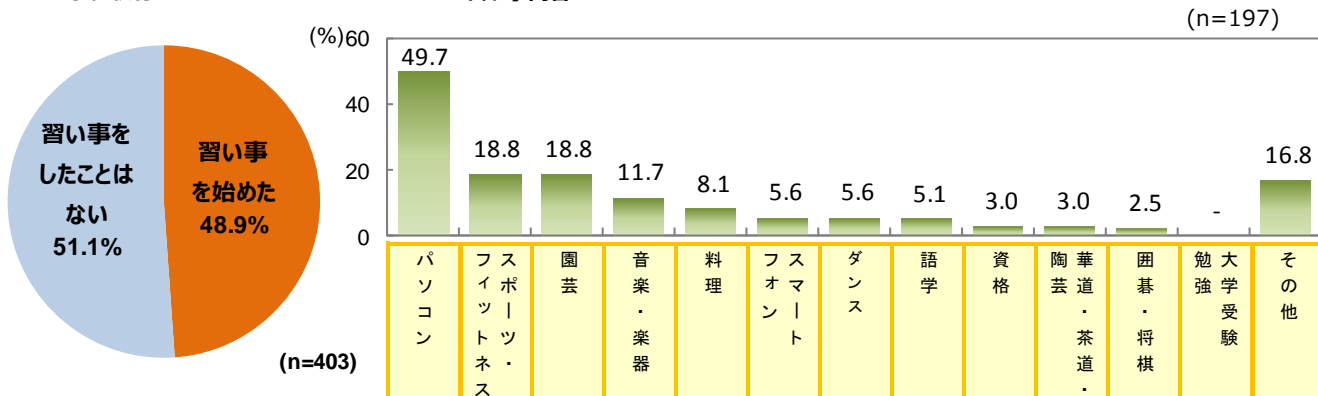


- ⊕ 職業は「リタイア・無職」が5割以上を占め、「専業主婦」が4割強で、「パート・アルバイト」が僅かにいます。
- ⊕ 今回の対象者の主は、既婚の夫婦のみで暮らしリタイア・無職世帯となっております。

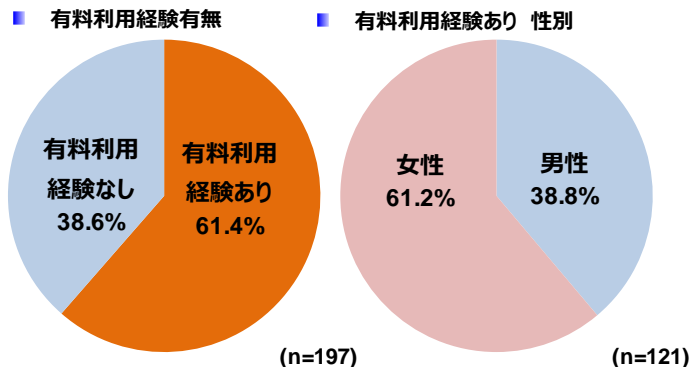
●60歳以上になって始めた習い事

●半数近くが習い事の経験がある。6割が有料サービス利用経験あり！

- ✦ 60歳以上になってから習い事を始めたかを聞いた所、約半数が60歳以降に習い事を始めたとの事
- ✦ 習い事の内容は、約半数が「パソコン」、次いで「スポーツフィットネス」「園芸」2割弱で続きます。
- 習い事経験有無
- 習い事内容

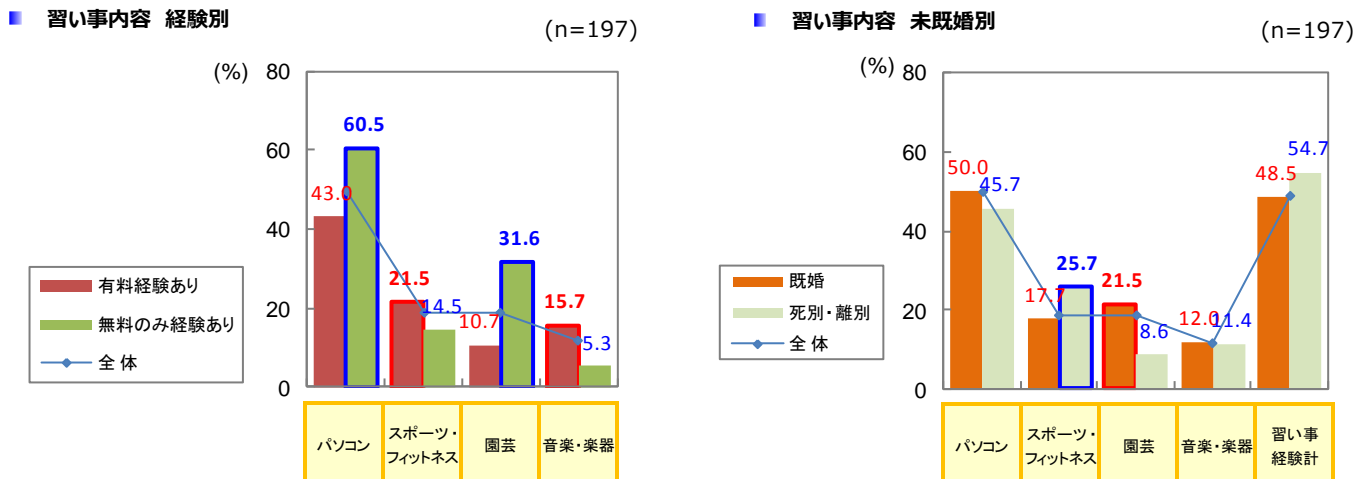


- ✦ また、有料の習い事経験有無を調べたところ60歳以上で習い事を始めた6割強が有料での利用経験があり、そのうちの6割台を女性が占めます。このことから、**女性の方が、有料の習い事に対して、抵抗感が少ない傾向**があると考えられます。



●無料習い事は「パソコン」「園芸」、有料の習い事は「スポーツ」「音楽」が人気！

- ✦ 無料の習い事のみ、している層は、「パソコン」「園芸」が高く、**有料経験者においては「スポーツ・フィットネス」「音楽・楽器」が、高くなりました。**
- ✦ 未既婚別でみると、【既婚者】は「園芸」が、【死別・離別者】は「スポーツ・フィットネス」がやや高く、死別離別の経験を経ることにより、**健康への意識が高まる、グループ行動などを通して、周囲とのつながりを作りたい**と考えるのではないのでしょうか。

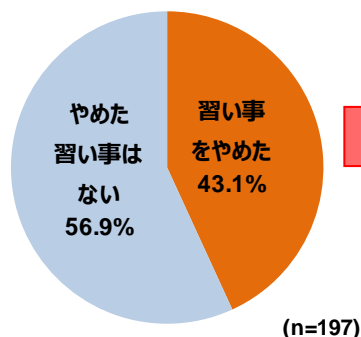


●現在はやめた習い事

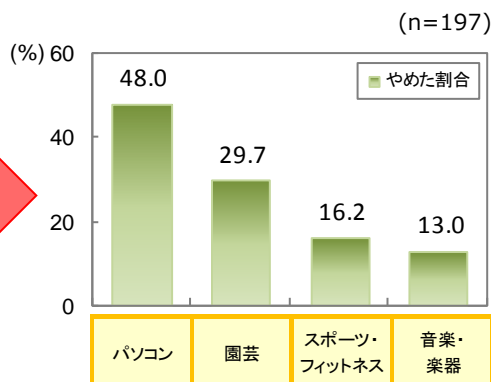
●約4割が60歳以上から始めた習い事を途中でやめている。特にパソコンは半数近い。

✦ 約4割が60歳以上から始めた習い事を途中でやめていました。また、習い事経験の項目別で、辞めたひとの割合をみると、「パソコン」は約半数が辞め、理由については、「あとは独学で良いと思ったため」が7割を占めました。それに対して、「スポーツ」「音楽」は1割台となり、他の習い事に比べ継続率が高いことがわかります。

■ 習い事内容 経験別



■ やめた習い事の割合

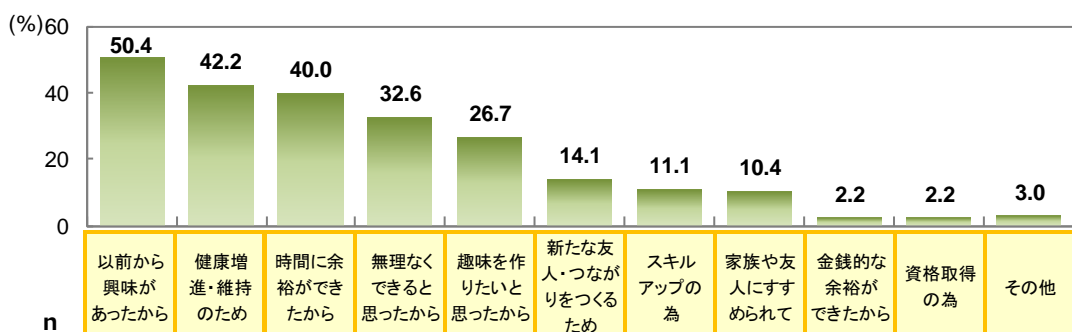


上位項目内訳

●習い事を始めたきっかけ

●死別・離別者は健康意識から、無料の習い事を選ぶ理由は時間に余裕があるから

✦ 習い事を始めたきっかけは「以前からの興味」、「健康増進・維持」、「時間に余裕ができたから」が上位項目となり、属性別にみると、【死別・離別者】は「健康増進・維持」が、【無料のみ経験者】は「時間に余裕ができたから」が高くなりました。



		n	以前から興味があったから	健康増進・維持のため	時間に余裕ができたから	無理なくできると思ったから	趣味を作りたいと思ったから	新たな友人・つながりをつくるため	スキルアップの為	家族や友人にすすめられて	金銭的な余裕ができたから	資格取得の為	その他
全体		135	50.4	42.2	40.0	32.6	26.7	14.1	11.1	10.4	2.2	2.2	3.0
性別	男性	63	49.2	41.3	50.8	34.9	25.4	11.1	15.9	6.3	3.2	1.6	-
	女性	72	51.4	43.1	30.6	30.6	27.8	16.7	6.9	13.9	1.4	2.8	5.6
未既婚	未婚	2	100.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0
	既婚	109	49.5	38.5	43.1	33.9	28.4	12.8	12.8	11.0	2.8	2.8	2.8
	死別・離別	24	50.0	62.5	25.0	29.2	20.8	20.8	4.2	8.3	-	-	-
習い事利用経験	有料経験あり	91	51.6	40.7	35.2	35.2	28.6	18.7	13.2	9.9	-	3.3	2.2
	無料のみ経験あり	44	47.7	45.5	50.0	27.3	22.7	4.5	6.8	11.4	6.8	-	4.5

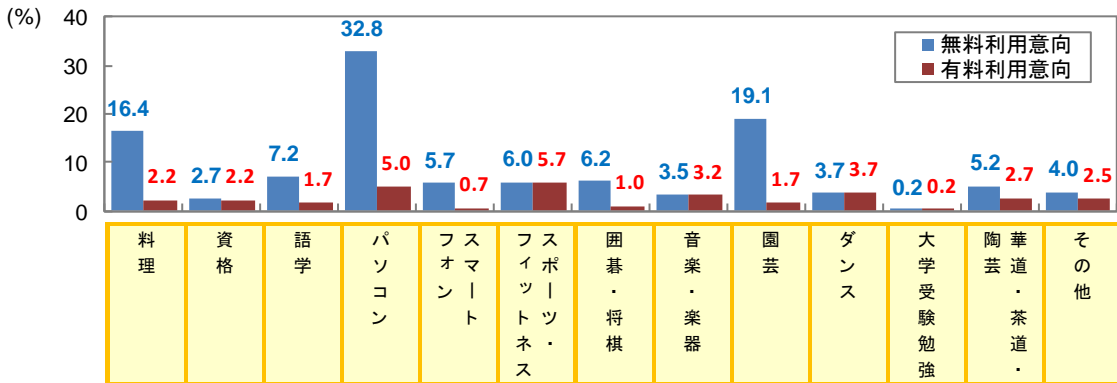
●新しく始めたい、これからも続けたい習い事

● 有料サービス経験者は、有料サービスへの抵抗が少なくなる傾向

⊕ では、習い事の利用意向は、有料と無料でどの程度、差をつけるのでしょうか。
 新しく始めたい、これからも続けたい習い事について、有料と無料、それぞれの場合で伺いました。
 「パソコン」「園芸」「料理」は有料での利用意向を伺うと、無料での利用意向と比べて大きく下がりました。
 一方、「スポーツ」「音楽」「ダンス」は有料と無料で、利用意向の差はほとんど見られませんでした。
 『無料習い事のみ経験者ベース』では、有料の習い事に対して、全く利用意向を示さず、【有料経験者ベース】では無料の習いごとに対しては**63.6%**、有料は**49.6%**と約10ポイントの差しかありませんでした。

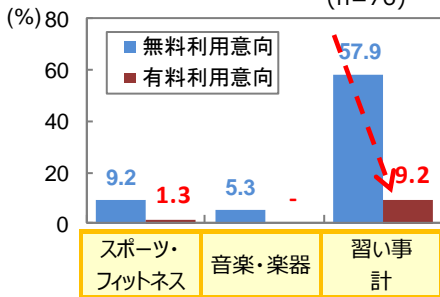
(n=403)

■ 習い事有料・無料別利用意向



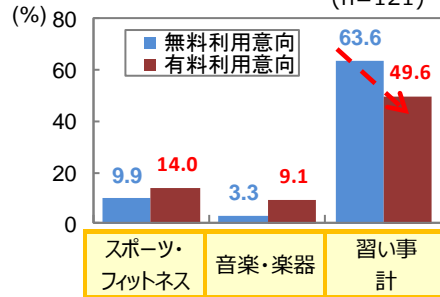
■ 無料のみ経験者 有料・無料別利用意向

(n=76)



■ 有料経験者 有料・無料別利用意向

(n=121)



まとめ

- ①女性の方が習い事に対して積極的である。
- ②死別・離別した人たちは「スポーツ」の利用経験がやや高い。
- ③パソコンの習い事は最も多かったが、辞めてしまう人も多い、一方「スポーツ」「音楽」は継続率が高い。
- ④有料の習い事を経験した人は、次回も有料の習い事に対しての抵抗は、少ない。

ターゲットは死別・離別した女性。

⇒女性の方が有料の習い事に積極的。

死別離別した人は「健康」「新たなつながり」が習い事のきっかけとしてあがり、「以前からの興味」等の個々人によって差があるポイントよりも、アプローチしやすいのではないか。

・テーマは継続的な収入が見込める「スポーツ」「音楽」

⇒「スポーツ」「音楽」は辞める割合も低く、更に有料の習い事経験者は、有料サービスの利用意向が高いことから、質の高いサービスを売りにある程度の価格が設定できるのではないかと。

(営業企画部／相野谷竜氏 ainoya@mdr-j.co.jp /古谷達郎 furuya@mdr-j.co.jp)

ご希望の方には、今回調査した全てのデータをお渡します。お気軽に営業担当までお問い合わせください。